

平成 24 年 4 月 18 日  
JISNAS 事務局

**農学知的支援ネットワーク（JISNAS）**  
**～平成 24 年度活動方針～**

**<基本方針>**

これまでの「組織の強化」、「研究成果の公表・広報」及び「国際協力事業の形成・実施」3 区分を、平成 24 年度は「組織・ネットワーク強化」及び「国際協力事業等の形成・実施支援」の 2 区分に整理の上活動を計画・実施する。

原則、平成 23 年度までの活動内容を継続し、特に個別事業の形成支援、グローバル人材の育成及び国際協力活動に係る会員間の優良事例の収集・共有に力点を置いた取り組みを行うこととする。

**<活動計画>**

**1. 組織・ネットワーク強化**

- (1) 運営委員会・総会：平成 24 年秋（11 月頃）に開催。
- (2) 文部科学省分野別協力者会議（農学）：同会議の企画・運営を支援する。平成 24 年度は以下の項目についての検討を行う予定。
  - 農学分野の国際教育協力の現場を通じたグローバル人材の育成
    - JICA 青年海外協力隊事業と連携したグローバル人材育成に向けた取り組み
    - 農林水産研究分野で国際的に活躍できる人材の育成の現状と課題
  - 農学分野の国際教育協力の推進
    - 開発途上国の高等教育に対する支援
    - アフリカ稲作開発への支援
    - その他の農学知的支援ネットワーク（JISNAS）活動に関する情報共有・意見交換
- (3) JICA-JISNAS フォーラム：平成 24 年秋（10 月上旬）に開催。フォーラムのテーマの候補は、「途上国の高等教育（農学部系）支援」、「農林水産研究分野におけるグローバル人材の育成」、「アフリカにおける稲作研究基盤体制の強化」とし、JICA と協議の上決定する。
- (4) 学術雑誌「農学国際協力」：第二号の編集及び第三号の企画を行う。
- (5) 国際協力活動に関する各種情報収集・照会対応：JISNAS ホームページの運営・JISNAS 便りの配信を通じて国際協力関連情報の共有を図る。特に、グローバル人材の育成に係る情報や国際協力活動に係る会員間の優良事例の収集・共有を促進する。

**2. 国際協力事業等の形成・実施支援**

- (1) JICA-JISNAS 連携事業－青年海外協力隊「食料の安全保障隊（仮称）」プログラム構想

ー：国内大学に対し本プログラムを広報するとともに、特定の国・研究課題に関心を有する国内大学の参加を得て JICA と共同で海外現地調査を実施し、現地ニーズと支援リソースとのマッチングを通じた具体的な案件の形成を図る。

- (2) 農林水産省平成 24 年度委託事業「地球規模課題国際研究ネットワーク事業（国際研究ネットワーク形成等の推進）」：農林水産研究分野で国際的に活躍できる日本人研究者の現状と課題について、JISNAS 会員を含む有識者から幅広く意見を募り、同人材の育成に向けた我が国の取り組みの方向性に関する提言の取り纏めを支援する。なお、本件に係るシンポジウムは平成 24 年 11 月に開催予定。
- (3) JICA 課題別研修（集団）「アフリカ地域稲作振興のための中核的農学研究者の育成」の実施促進：第一年次研修コース（2012 年 7 月 3 日～8 月 4 日）の実施を支援するとともに、その成果や教訓の会員間での共有を図る。また、次年度の実施に向けて、本研修コースへの会員大学の参加を募る。
- (4) アフガニスタン留学生受入大学間の連携と交流強化：アフガニスタン留学生の指導教員間のネットワーク形成等を目的とした「特別セミナー」を平成 24 年夏までに開催するよう JICA 農村開発部と調整するとともに、メーリングリストの作成等を通じて指導教員間の連携を支援する。
- (5) パラグアイ大豆分野への協力：平成 24 年 3 月に実施された JISNAS 会員による JICA 基礎情報収集・確認調査の結果を踏まえ、会員大学による今後の協力の可能性を検討する。
- (6) その他：今後 JISNAS のサポートが期待される可能性のある以下の事業等について協力要請がなされた場合は、JISNAS 事務局は JISNAS 運営委員等と相談の上、JISNAS としての協力の可能性を検討、支援する。
  - アジア地域の高等教育支援（ベトナム、ミャンマー等）
  - アフリカ地域の高等教育支援（ケニア等）
  - アフガニスタンを対象とした JICA 本邦研修の形成・実施
  - その他

以 上